

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○11月21日～

米国の消費者物価指数、卸売物価指数ともに予想を下回ったことで、来月以降のFOMCで政策に変化が出てくるかどうか注目が集まっています。

また、利上げだけでなくFRBのバランスシートの総資産はコロナショック後に急拡大しているためバランスシートの縮小(QT)が今後どうなっていくかも気になります。

米国は木曜が祝日(感謝祭)になります。

去年は感謝祭の時に株価が暴落し、為替も円高方向へ動いたので、今年も休暇前の手仕舞い売りによる下げには注意したいです。

<ドル/円>

ドルは、先週は140円台では頭打ちとなる動きになりました。

141円を超えてくると142円あたりまで値を戻す可能性があります。

下値は139.6円を割り込むと138円台後半まで下がる可能性も。

<気になるクロス円>

クロス円は10月に天井をつけて少し下げてきているペアが多く、安値更新の動きには警戒したいです。

ユーロとポンドは先週上昇しているので、この流れが続くかどうか注視したいです。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇/円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル?>

日本では11月東京都区部消費者物価指数などがあります。

米国では11月リッチモンド連銀製造業指数、前週分新規失業保険申請件数、10月耐久財受注、11月製造業・サービス部門・総合PMI(速報値)、11月ミシガン大学消費者信頼感指数、10月新築住宅販売件数、FOMC議事要旨などが発表されます。

欧州ではユーロ圏とドイツで11月製造業・サービス業PMI(速報値)、ドイツで11月IFO企業景況感指数、7-9月期GDP(改定値)などがあります。

ほかにはニュージーランドと南アフリカで政策金利の発表などがあります。